

第 5 学 年 外 国 語 科 学 習 指 導 案

5 年 2 組 指 導 者 後 藤 大 雄

単 元 Where is your treasure?

1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

状況に応じて再構築すること

2 本単元について

本学級の子どもたちは、第 5 学年「My Hero」の学習において、自分のあこがれの人を紹介するという目的に応じて、あこがれの人のできることや得意なこと、人柄を英語で考え、友だちに伝えることができた。このような子どもたちが、状況に応じて指示を英語で考え、わかりやすい道案内をする学習に取り組む。このことは、目的や場面、状況に応じて外国語によるコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことにつながるであろう。

本単元で取り組む道案内は、子どもたちが「状況に応じて再構築すること」への意識を高めることに適した言語活動である。なぜならば、道案内には、相手が行きたい場所や自分が連れていきたい場所、街のつくり、宝箱の位置など様々な状況があるからである。子どもたちは、状況に応じて指示を英語で考えながら、わかりやすい道案内の仕方を追究していくであろう。その際、子どもたちが状況に応じて指示を英語で考えることよさに気付くことを大切にしたい。そうすることで、自覚的に状況に応じてわかりやすく道案内をしていくことができるようになることを考える。そして、今後の学習において、コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて伝えたい内容を英語で考えていく子どもたちの姿を期待したい。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 単元導入の道案内では、碁盤目状の街が描かれた地図上で紙人形を操作するよう促す。そうすることで、無自覚に状況に応じて指示を英語で考えることができるようにする。【創】
- わかりやすい道案内に役に立った考え方を問う。そうすることで、状況に応じて指示を英語で考えることよさに気付くことができるようにする。【受】
- 道案内の際、マス目で構成された地図や 2 つの宝箱を近くに配置した地図を提示したり、教室内で宝物を探す活動を設定したりする。そうすることで、状況に応じて指示を英語で考えることができるようにする。【転】

3 本単元の目標

- 状況に応じて指示を英語で考え、わかりやすい道案内をすることができるようにする。
- 目的や場面、状況に応じて、外国語によるコミュニケーションを図ろうとすることができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○道順や宝物の位置を指示することができる。	○状況に応じて、適切な英語を用いながら道順や宝物の位置を指示したり、それらに応じたりしている。	○状況に応じて道順や宝物の位置を指示しようとしたり、それらに応じようとしたりしている。

5 指導計画（全 6 時間）


第 1 次 状況に応じて、道案内をする（2 時間）

第 2 次 状況に応じて、宝物への道案内をする（4 時間）【本時 3 / 4】

6 本時案 【令和3年11月5日 10:20~11:05 5年2組教室】

(1) ねらい 状況に応じて指示を英語で考えながら、道順や宝箱の位置をわかりやすく指示したり、それらに応じたりすることができるようにする。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 自分が決めた宝箱への道案内をする。(35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて指示を英語で考えること ・重要な情報を伝える語に強勢を置くこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A. Where is your treasure? B. OK. Go straight. Turn right. Go straight. Turn left. Go straight for two blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right. It's by the gate. A. OK. It's your treasure. B. That's right!</p> </div>	<p>・自分が決めた宝箱への道案内をするのだね。 ・この地図では、学校の門の横や上に宝箱があるよ。</p> <p style="text-align: center;">どうすればわかりやすい道案内ができるのだろう</p> <p>A <u>門の上ではなくて門の横の宝箱に案内したいから、It's by the gateだ。</u> A Go straight for two blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right. It's by the gate. ・Aくんの道案内は、by を強調して発音していたから、わかりやすかったよ。 B 相手が聞き取れるように位置を示すことばを強調して発音したのだね。 A <u>自分が決めた宝箱の近くに他の宝箱があるときに、by を強調して発音することによって自分が決めた宝箱の位置を相手が特定することができるよ。</u> ・他の宝箱が近くにあるときには、位置を示すことばを強調して発音するとよいのか。 B 強調して発音しよう。It's on the mailbox. ・It's your treasure. 特定しやすかったよ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どのように考えたから、宝箱へのわかりやすい道案内ができたのかな。</p>  </div>	<p>○本時で扱う地図には、施設ごとに、二つの宝箱を近くに配置する。そうすることで、状況に応じて指示を英語で考え道案内に取り組むことができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">【転】</p> <p>○byなどに強勢を置いて相手がわかりやすい指示をした子どもを見取った際、その意図を問う。そうすることで、状況に応じて指示を英語で考えていたことに気付くことができるようにする。 【受】</p> <p>○本時の道案内で役に立った考え方を問う。そうすることで、状況に応じて指示を英語で考えることよきに気付くことができるようにする。 【受】</p>
<p>2 本時の学習を振り返る。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて指示を英語で考えることよき 	<p>A <u>宝箱の位置をよく見て、on, in, under, by を強調して発音しようと考えたから宝箱へのわかりやすい道案内ができたのだよ。</u> ・次は自分の本当の宝物が宝箱に入っている設定で道案内をするのか。楽しみだな。</p>	<p style="text-align: right;">【受】</p>

(3) 板書計画

第 5 学 年 外 国 語 科 学 習 指 導 計 画

5 年 2 組 指 導 者 後 藤 大 雄

1 8 M (6 時 間) が 本 時

学 習 活 動	子 ど も の 意 識
第 1 次 状況に応じて、道案内をする 6 M (2 時 間)	
学習内容 ・道案内特有の表現 (知) ・施設の表現 (知) ・状況に応じて指示すること (思) ・状況に応じて指示することのよさ (思) ・わかりやすい道案内をしようとする (態)	
<p><input type="checkbox"/> 単元の見通しをもつ (3 M)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> A. Where is the fire station? B. Turn left. Go straight. Go straight. Go straight. You can see it on your right. </div> <p><input type="checkbox"/> 相手が行きたい場所への道案内をする (3 M)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> A. Where is the department store? B. Go straight. Turn left. Go straight. You can see it on your right. A. Thank you. </div>	<p>・街には、fire station や sports shop など様々な施設があるね。駅から post office に行きたい人を街の人が道案内をしているよ。Where is the ~? で行きたい場所をたずねるのだね。4 年生の時に学習した Go straight. などの表現も使っているよ。この單元では、英語で道案内をするのだね。さっそく言い方を確認してやってみよう。bookstore に行きたいのだね。道案内をすることができたよ。次はわたしの行きたい場所に道案内をしてもらおう番だ。Where is the fire station? 到着してみたいだよ。でも、fire station がどちら側にあるのか Stop! だけではわからないよ。道案内の最後に You can see it on your right. があると、fire station がどちら側にあるかがよくわかるね。4 年生の時に学習した Stop! で終わる道案内よりもわかりやすいね。この單元を通して、英語でわかりやすい道案内ができるようになりたいな。</p> <p>・財布を拾ったから、police station に行きたい人に道案内をするのだね。Turn left. 、Turn right. どちらを使ったらよいのだろう。自分がどちらを向いて進んでいるのか、英語でその場で話すのは難しいね。そういうときには、メモで指示を整理しておくといいのか。さっそくメモを使って道案内をしよう。プレゼントを買いたい相手を department store に連れていくためには、今は駅前にいるから 1 回まっすぐ進んで、左に向きを変えて、1 回まっすぐ進むとよいので Go straight. Turn left. Go straight だよ。そうすると右手にあるから、You can see it on your right. だ。案内できたぞ。どのように考えたから道案内ができたのかな。今の自分のいる位置と連れていきたい場所までの街のつくりをよく見て英語で指示を考えたから道案内ができたよ。</p>
第 2 次 状況に応じて、宝物への道案内をする 12M (4 時 間)	
学習内容 ・位置を伝える表現 (知) ・重要な情報に強勢を置くこと (知) ・状況に応じて指示すること (思) ・状況に応じて指示することのよさ (思) ・わかりやすい道案内をしようとする (態)	
<p><input type="checkbox"/> 表を地図に見立てて宝物への道案内をする (3 M)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> A. Where is your treasure? B. Go straight for five blocks. Turn left. Go straight for two blocks. A. Is it a black cat? B. Yes, it is. </div>	<p>・今日は、表を地図に見立てて、宝物への道案内をするのか。宝物が yellow の行の book の列にあるとして、Go straight. や Turn right. を使って道案内をするのだね。さっそくやってみよう。どの宝物も、その宝物までには、いろいろな行き方があるね。Go straight. を 5 回も言うのは大変だよ。K 先生からアドバイスがあるのだから。Go straight for five blocks. とまとめて言えばよいのだね。よし、やってみよう。2 回まっすぐ進むから、まとめて Go straight for two blocks. で指示すればよいね。うまく伝わったぞ。道案内をしてもらった人は何回も同じことばを聞かなくてすむからわかりやすかったのだね。どのように考えたから宝物へのわかりやすい道案内ができたのかな。START から宝物までのマス数をよく見て英語で指示を考えたから、宝物へのわかりやすい道案内ができたよ。</p>

□部屋にある宝物への道案内をする (3M)

- A. Where is your treasure?
B. Turn right. Go straight for four blocks. You can see it on your right. It's in the sports shop. It's on the desk.
A. Is it a book?
B. Yes, it is. That's right!

□自分が決めた宝箱への道案内をする (3M)

- A. Where is your treasure?
B. OK. Go straight. Turn right. Go straight. Turn left. Go straight for two blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right. It's on the gate.
A. OK. It's your treasure.
B. That's right!

□宝箱への道案内をし、自分の本当の宝物を紹介する (3M)

- A. Where is your treasure?
B. OK. Go straight for five blocks. You can see it on your right. It's on the board.
A. OK. It's your treasure.
B. That's right! My treasure is my dog. He is so cute!

・今日は、地図を使って宝物への道案内をするのだから。sports shop がある建物の2階の部屋に宝物があるのか。まずは sports shop まで道案内をしよう。2階の部屋に入ろう。テーブルの上に book があるぞ。机の横には bag があるよ。宝物はどれだろう。It's blue. 青いものはたくさんあるぞ。It's on the table. だって。watch だ。on で何かの上にくっついている位置を伝えることができるのだね。他にも in や under、by もあるよ。わたしは book を宝物にしようかな。机の上にあるから、It's on the desk. だ。It's red. It's on the table. 次は A くんだよ。A くんは宝物は soccer ball だけど in the table と under the table のどちらを使ったらよいのか迷っているようだよ。in は包み込むイメージなのだから。机の引き出しの中だったら in になるね。机の下は under だね。宝物が何かをわかってもらえたよ。どのように考えたから、宝物が何かをわかってもらえたのかな。上にくっついているのか、側にあるのかなど、宝物の位置をよく見て on, in, under, by を使って指示を考えたから宝物が何かをわかってもらえたよ。

・自分が決めた宝箱への道案内をするのだから。学校の門の横や上に宝箱があるよ。この地図では、どうすればわかりやすい道案内ができるのだろうか。門の上ではなくて門の横の宝箱に案内したいから、It's by the gate. だ。相手が聞き取れるように位置を示すことばを強調して発音したよ。自分が決めた門の横の宝箱の近くに他の宝箱があるときに、by を強調して発音することによって、自分が決めた宝箱の位置を相手が特定することができるよ。どのように考えたから、宝箱へのわかりやすい道案内ができたのかな。宝箱の位置をよく見て、on, in, under, by を強調して発音しようとしたから宝箱へのわかりやすい道案内ができたよ。次は自分の本当の宝物が宝箱に入っている設定で道案内をするのか。楽しみだな。

・今日は、教室を街に見立てて自分の本当の宝物が入った宝箱への道案内をするのだから。ペットの犬の写真を持ってきたよ。教室だと宝箱を机の横や下に置くことができるから、It's by the desk. や It's under the desk. が使えるよ。自分たちが机の位置を動かしてもよいのだから。これまで学んだ英語が使える街をつくろう。黒板に宝箱をくっつけて宝物を入れよう。It's on the board. だ。そこまで行くには、この道は5つの机をまっすぐ進んだらよいので Go straight for five blocks. だ。やってみよう。相手がわかりやすかったと言ってくれたよ。My treasure is my dog. He is so cute! 単元全体で、道順や街のつくり、物の位置などの状況をよく見て、伝えることを英語で考えることで、わかりやすい道案内をすることができたよ。状況をよく見て、伝えたいことを英語で考えることは、今後も使えそうだな。

本時で扱う地図

